

四季の風

■発行責任者／病院長 曾根 孝仁
■編集／大垣市民病院広報誌編集委員会



広報 第41号

・発行 平成25年1月1日・

理念

患者中心の医療 良質な医療の提供

大垣市民病院臨床研修の理念

- ◎社会人としての規律を守り、医師として思いやりのある人格を涵養する。
- ◎プライマリ・ケアに必要な幅広い診療能力を修得する。
- ◎チーム医療の一員として、安全・安心・満足の得られる患者中心の良質な全人的医療を実践する。

当院は、臨床研修病院に指定されており、次世代の医師育成のため、上級医の指導のもと研修医の臨床研修及び学生の臨床実習を行っています。



(長野県 豊科)

主な症状は、まぶしい、目がかすむ、明るいところで見えにくいなどの初期症状からはじまり、やがて水晶体の濁りの広がりとともに視力が低下していきます。眼鏡で矯正することはできません。白内障の自覚症状は、ごくありふれたものですが、白内障以外の多くの病気でも現れ、中には少しでも早い治療が必要なものもあります。ですから、ご自身の考え方で白内障と判断するのは危険です。白内障の大多数は、白髪や肌のシワと同じで、歳とともに誰にでも起きる変化です。病的なことではなく、

眼の構造は、よくカメラに例えられます。白内障は、カメラのレンズに相当する、本来透明なはずの水晶体という組織に濁りが生じて、フィルムに相当する網膜という組織に、鮮明な像がうつらなくなるのです。言い換えるならば、曇った窓ガラスを通して外の景色を見ているような状況と同じです。

それほど心配いりません。その他の病気（緑内障や網膜の病気など）があれば、治療により視力を取り戻すことができます。水晶体の濁りは、薬で取り除くことはできませんので、手術が根本的な治療になります。ただ、生活上不便を感じなければ急ぐことはありません。白内障の進行を遅くする点眼薬を使って定期検査で様子をみていく、患者さんそれぞれの生活状況、必要性に応じて手術を受ける時期を考えていきます。自覚症状がある方はもちろん、その他に心配なことがありましたら、気軽にご相談ください。

白内障について

専門医が教える家庭の医学

診療部

眼科 堀 賢英



看護部



看護部の理念

安心と満足につながる
温かな看護の提供

看護外来の特徴

看護外来は、一部の看護外来（フットケア外来・リンパ浮腫外来）を除くすべてを一か所で行う集結型になっています。看護外来には相談室1・相談室2・相談室3の個室があり、医師の診療科と完全分離しています。そして、防音装備等を整備し、普段診療科ではなかなか話せないことも、ゆっくり伺うことができる環境を整えています。

また、退院後の通院患者さんだけでなく、これから当院で手術を受けられる予約入院患者さんを対象に、入院・手術前の患者さんの不安が少しでも和らぐよう支援します。

看護外来でのケア内容



相談室1 ストーマケア

人工肛門や人工膀胱の患者さん、ご家族を対象に、患者さんが入院前に近い生活が送れるよう支援します。

褥瘡（床ずれ）および予防ケア

褥瘡の予防や改善をめざすよう、日常生活の工夫やケアについて相談に応じます。

失禁ケア

失禁でお困りの方の日常生活での工夫やお悩みに、また、失禁による皮膚のただれなどのケアについての相談に応じます。

糖尿病看護ケア

糖尿病・腎臓内科で初めて糖尿病の診断を受けた方、これからインスリン治療が開始になる方の指導をおこないます。

緩和ケア

がんの診断を受けた患者さんのご自宅で過ごしたいという希望がかなえられるよう、診療科医師と連携を図り「緩和ケア地域連携バス」を活用し、患者さんおよびご家族を支援します。

相談室3 術前看護センター

当院で手術を受けられる入院予約をされている患者さんやご家族を対象に、外来看護師が入院前の生活などの情報を聞いたり、入院までの手続きなどの説明をさせていただきます。

看護外来の受診までの流れ

診療科の主治医に看護外来の受診についてお尋ねください。
*医師と連携を図るために看護外来受診前には、毎回診療科の医師の診察を受けていただきます。

看護外来受診案内	
開設時期	平成25年2月予定
場所	1病棟1階正面玄関西側（脳神経外科の東側）
時間	月曜日～金曜日（祭日を除く）
受診方法	完全予約制

診療科の主治医に看護外来の受診についてお尋ねください。
*医師と連携を図るために看護外来受診前には、毎回診療科の医師の診察を受けていただきます。

看護外来の場所 1病棟 1階

外来患者さんのお悩みを看護外来で
対応させていただきます。
多くの方のご利用をお待ちしています。



「救急外来でのトリアージ」



救命救急センター 救急外来
救急看護認定看護師 和田 孝

トリアージ (Triage) はフランス語であり、trier (選抜する) から派生した言葉です。トリアージには、「災害トリアージ」と「救急外来トリアージ」があります。

救命の可能性のない傷病者をおきりめる災害トリアージに對して、救急外来トリアージは、救命に關わる緊急度・重症度を判定して、最も緊急度の高い傷病者を迅速に検査や処置を施すことができるシステムです。したがつて、後から受付をした人が優先的に診察を行うことがあります。この背景には、救急医療の現場で年々患者数が増加する一方、医師不足などから患者受け入れ困難な医療施設の増加により、救命救急センターが混雑する問題が生じています。このことから、休日の救急外来の待ち時間が2~3時間に達することが多々あります。

救急外来は、突然の病気やけがで来院するため、予約制ではありません。冒頭で述べたように緊急度・重症度を判定して、より生命に危機が迫っている傷病者を優先的に診察します。また、救急車で来院されても緊急度が低ければ、待合室でお待ちいただいています。

トリアージは、訓練を受けた専門のトリアージナースが行います。現在は、土・日・祭日の午後1時から午後9時まで実施しています。将来的には、毎日実施できるように調整していきたいと考えています。

皆様のご理解とご協力を願っています。



薬剤部 Vol.39

とておきの

薬のはなし

房水流出を促進するもの

サンピロ(一日3~5回)

昔の主要薬で、塩酸ピロカルピンという縮瞳薬が配合されています。毛様体筋を収縮させ縮瞳を起こして、線維柱体の間隙を拡大させることにより房水流出を促進します。

ピバレフリン(一日1~2回)

開放隅角緑内障に用い、閉塞隅角緑内障には使いません。おもに房水流出を促進して眼圧を下げます。

PG関連薬

レスキュラ(一日2回)、キサラタン(一日1回)、トラバタンズ(一日1回)、タブロス(一日1回)、ルミガン(一日1回)

PGとは生理活性物質プロスタグランジンの略称で、その各種誘導体が緑内障治療薬として開発されています。そして、それらをPG関連薬とよび、おもに、ブドウ膜強膜流出路からの房水流出を促進することで眼圧を下げます。

レスキュラは、代謝型プロストン系に分類され作用がマイルドで、副作用も少ないほうです。その他は別系統のプロストン系になります。プロストン系薬は1日1回の点眼で、強力かつ安定した眼圧下降作用を発揮します。

コソプト(一日2回)

炭酸脱水素酵素阻害薬のトルソプトと、β遮断薬のチモブトールとの配合点眼薬です。両成分とも、房水流産生抑制作用をもちます。1種類では効果不十分な場合に併用療法として処方されることになります。

炭酸脱水素酵素阻害薬・β遮断薬配合剤

ハイパジール(一日2回)、エイジブト(一日2回)、ダイアモックス、トルソプト(一日3回)、

α遮断作用による房水流出促進作用と、β遮断作用による房水流産生抑制作用をあわせ持つ点眼薬です。

α・β遮断薬

房水流産生を抑制するもの

チモブトール(一日2回)、ミケラン(一日2回)

目の毛様体にあるβ受容体を遮断し、房水流産生をおさえることで眼圧を下げます。優れた眼圧下降作用を示し、またあらゆる緑内障に有効なっています。

β遮断薬

房水流産生を抑制するもの

α遮断薬

房水流産生を抑制するもの

XE(一日1回)、ミケラン(一日2回)

目の毛様体にあるβ受容体を遮断し、房水流産生をおさえることで眼圧を下げます。優れた眼圧下降作用を示し、またあらゆる緑内障に有効なっています。

α2受容体作動薬

房水流産生を抑制するもの

アイファガム(一日2回)

房水流産生を抑制するもの

新しい作用機序をもつ緑内障治療薬です。アドレナリンα2受容体に作用し、房水流産生を抑制するとともに、房水流産生を促進することで眼圧を下げます。長期にわたり安定した眼圧下降作用を示しますが、治療効果ではPG関連薬やβ遮断薬にやや劣るようです。このため、他の標準薬が副作用で使えないときや、効果が不十分なときに第二もしくは第三選択されます。

臨床倫理方針

- 患者の人権を守り、自己決定権を尊重します。
 - 患者中心の良質で高度かつ公平な医療を提供します。
 - 患者への正確な情報提供と十分な説明を行い、患者同意のもとに信頼される医療を提供します。
 - 他の医療機関での医師の意見を求める、セカンドオピニオンに対応いたします。
 - 患者の個人情報の保護と守秘義務を徹底します。
 - 関係法規、ガイドラインを遵守した医療を提供します。
 - 生命の尊厳、医療の妥当性に関する問題については、臨床倫理委員会で審議し、治療方針を決定します。
- 当院では、以上7つの方針に基づき治療を行っています。

患者さんの権利と責任

- 症状、検査、治療、治験及び看護などの医療行為の内容、これらの医療行為に要する費用などを知る権利があります。
- これらの医療行為を自己の意志で決定する権利があります。
- プライバシーが保護される権利があります。
- 医療に対し病院とともに参加し、協力する責任があります。

よろず相談・地域連携課出前講座

テークマ:「おしえて!確定申告(医療費控除)の手続き方法」

確定申告の医療費控除について、みなさんの疑問にお答えします。

日 時: 平成25年1月24日(木)
午後4時~午後5時

場 所: 3病棟2階 デイルーム

テークマ:「介護保険で利用できる施設について知ろう!」

介護保険制度に基づいて利用ができる施設について、特徴や違いなど、わかりやすくご説明します。

日 時: 平成25年3月28日(木)
午後4時~午後5時

場 所: 3病棟2階 デイルーム

問い合わせ先: よろず相談・地域連携課
内線6178



3つの講座については、事前の予約は必要がなく、どなたでも無料で参加いただけますので、多数のご参加をお待ちしております。

お知らせ

市民公開講座

演題: 「知ってほしい 5つの感染症」
診療検査科 細菌検査室長補佐 後藤 孝司
日時: 平成25年2月19日(火)
午後2時~午後3時
場所: 管理棟5階 講堂
問い合わせ先: 診療検査科 内線4521

糖尿病公開講演会

演題: 「iPS細胞と未来の糖尿病治療」
糖尿病腎臓内科部長 傍島 裕司
日時: 平成25年2月21日(木)
午後4時~午後5時
場所: 管理棟5階 講堂
問い合わせ先: 糖尿病腎臓内科 内線2101



看護師 隨時募集 保育所完備

- 応募資格/ 採用時満55歳までの方
(准看護師は45歳までの方)
正職員: 助産師、看護師免許取得者
パート: 助産師、看護師または准看護師免許取得者
※正職員は夜勤も数回できる方
- 勤務体制/ 外来または病棟勤務
- 選考方法/ 書類選考および面接*面接日などは後日連絡
- 申し込み/ 看護師または准看護師免許証の写しと履歴書(写真添付)を大垣市民病院庶務課へ郵送またはご持参ください。
- 問い合わせ先/ 〒503-8502 大垣市南頬町4丁目86番地
大垣市民病院 庶務課
☎0584-81-3341 内線6132・6133

*応募資格・勤務時間等の詳細な内容については、当院ホームページまたは上記の問い合わせ先までお尋ねください。採用者には、一定期間研修を行いますので、安心して働くことができます。たくさんのご応募おまちしております。

「ホームページ」リニューアル

平成25年1月から、当院のホームページをリニューアルしました。

ワイド画面に対応し、受診される方、入院のご案内、診療科のご案内など、自分の探したいページがわかりやすい配置となっています。
ぜひ、ご覧ください。

(新アドレス <http://www.ogaki-mh.jp/>)



当院は敷地内全面禁煙です。ご理解、ご協力ください。